

一般質問発言通告要旨

(令和5年三島市議会9月定例会)

発言 順位	発言者	発言要旨	備考
1	古長谷 稔	1 新庁舎整備に関する検討状況について	9/20 (水)
2	河野 月江	1 三島駅南口東街区再開発事業の現状と市のこれまでのすすめ方について	
3	野村 諒子	1 働く人の利用促進を図る公民館運営について 2 新庁舎建設費の妥当性と建設費を抑える取組みについて	
4	永田 裕二	1 大場ポンプ場など市内排水施設等の管理・運営について 2 新庁舎の整備候補地の選定について	
5	高田 康子	1 子どもと高齢者の見守り対策について 2 住宅確保要配慮者に対するの居住支援について	9/21 (木)
6	横山 雅人	1 三島市オリジナル仕様のWEB・アプリサービス KENPOSについて 2 長伏プール終了後の活用について 3 市道の街路樹について	
7	本間 雄次郎	1 三島駅南口東街区再開発事業について	
8	岡田 美喜子	1 ひきこもりへの相談体制について 2 「思いやり運転」交通安全対策について	
9	弓場 重明	1 三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況 2 新庁舎整備について	9/22 (金)
10	秋山 恭亮	1 子どもたちの安全と未来のために 公平・公正な教育の実施について 2 共創の街 民間と手を携えた、より活性化した三島の実現について	
11	佐野 淳祥	1 新庁舎建て替え事業について 2 子どもが選択できる学習環境と成長機会について	
12	土屋 利絵	1 引きこもっている方への支援について 2 三島駅南口東街区再開発事業について	9/25 (月)
13	堀江 和雄	1 公会計から得られるデータの活用とデジタル予算書の取組みについて 2 小さな低速電動車（グリーンスローモビリティ）が公共交通と地域を変える	
14	服部 正平	1 市民の日常生活の環境保全における本市の対応について 2 マイナンバーカード及びそれに関わるマイナ保険証の対応について	
15	宮下 知朗	1 部活動の在り方について 2 情報発信能力の更なる強化に向けて	9/26 (火)
16	石井 真人	1 社会情勢変更に伴う公共施設等総合管理計画と長期財政計画について 2 三島駅南口東街区再開発事業の事業計画変更について	
17	村田 耕一	1 新庁舎整備候補地と整備内容と跡地利用詳細 2 清掃センターの将来を見越して市民一人当たりの一般廃棄物排出量の減少を	

一般質問発言通告書

発言順位

1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 11番 古長谷 稔

質問事項1	新庁舎整備に関する検討状況について
具体的内容	三島市は現在、新庁舎整備に向けた基本構想の策定にあたり、候補地を北田町（現在地）と南二日町広場の2ヶ所に絞り込み、さらに各候補地ごと北田町で4案、南二日町で2案の合計6案を提示して、どの案を選択して基本構想をまとめるか検討中とのことである。9月1日から10月2日にかけて、パブリックコメントを実施しているが、その際に使用している資料を基に、詳細な内容の確認が必要と考える事項について、以下の各項目を伺う。
	1. 各候補地の特徴について
	(1) 庁舎建設における法的な規制（高さ制限、日影制限、容積率）について
	(2) 各候補地の跡地の資産的価値と活用に対する基本的考え方について
	(3) 水害（内水氾濫、外水氾濫）、地震等の災害想定と各候補地の位置的条件について
	(4) 南二日町広場の浸水想定と周辺地区との関係について
	(5) 大規模災害時における拠点機能について
	2. 北田町（現在地）を選択する場合の考え方について
	(1) 仮設庁舎の必要性、期間、費用等条件と建設場所の選択肢について
	(2) 仮設庁舎を建ててまで、同じ場所に建設した他の自治体の把握状況について
	(3) 仮設庁舎を設けることによる市民や職員の負担について
	(4) 立体駐車場を構想から外せない理由、もし無くても可能ならば、6案以外に別途新たな選択肢を示すべきと考えるかいかがか。
	(5) 庁舎を高層にすることによるメリット、デメリットについて
	(6) 大社町別館の用途を変えて使い続けた場合の考え方について
	3. 南二日町広場を選択する場合の考え方について
	(1) 最小経費で最大効果を上げるための考え方
	(2) 庁舎を低層にすることによるメリット、デメリットについて
	(3) 公共交通アクセスを向上させられる可能性
	(4) 旧下田街道からの出入りを容易にするための道路構造について
	(5) 人工芝グラウンドを残した場合（⑤案）、国道1号から左折インで侵入できる可能性、及び、進入路を人工芝グラウンドの観客席にもできる可能性
	4. まちなかに賑わいをもたらす跡地の利活用について
	(1) スマート・プランニングでの前提条件の違いと考察結果の解釈について
	(2) 跡地を売却するのではなく、PFIなど民間と協力した土地利活用の可能性について
	(3) 南二日町広場での建設となれば、事業費面で大きなメリットがあることから、その差額の一部をまちなかに投資する考えはあるか。

一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項 1	三島駅南口東街区再開発事業の現状と市のこれまでのすすめ方について
具体的内容	<p>本事業は現在、権利変換計画縦覧手続きを経て、9月8日には同計画および事業計画の変更案を決議する総会が準備されている。新たな事業計画案には、総事業費で52億円の増、工事費で43億円の増、市の補助金負担で5億円の増などが盛り込まれており、市が最後に市民に示した「進捗状況」（今年6月）の範囲を大きく超える計画である。にも拘わらず、市は市民への説明・納得を経ないまま、地権者の一人として総会に臨もうとしている。そればかりか、8月末に市が議員に行なった説明会では、市は「まだ知らない地権者もいる」ことを理由に、情報を議員限りに留めるよう、事実上の「かん口令」まで敷いた。</p> <p>8月31日に開かれた全議員説明会では、変更されようとしている事業計画に関わって、工事費増額分43億円の内訳を問う議員の質疑に対し、当局者からは、増額した工事費の明細書を「見ていない」「発注者（組合）と受注者（施行者）は民・民の関係であり、市にチェックの役割はない」との答弁がなされた。</p> <p>以上のような事実と経過は、“市民合意による行政運営”や“透明性・合理性・民主性の確保された財政運営”を求めるといふ、本事業に対する考え方の違いを超えて存する市民のまっとうな願いとは明らかに逆行するものと言わざるを得ない。</p> <p>改めて、二代表制のもと市民の代表である議会の役割を果たす立場で、以下について伺う。</p>
1	<p>工事費（組合設立時175億円→新事業計画218億円）に関して</p> <p>(1) 施行者との契約の状況はどうか。</p> <p>(2) 増額分43億円の内訳は確認できたのか、説明できるか。</p> <p>(3) ECI方式本来の目的（コスト削減、工期短縮）はどのようにどれくらい果たされたのか。</p> <p>(4) 「本事業特有の課題」が工事費にどれくらい影響を与えたのか。</p> <p>(5) ECI事業者募集の際組合が示した工事費の要件と各提案者の提案額はどうか。</p> <p>(6) 事業認可申請時（R4年2月）の市の工事費に対する認識について</p> <p>(7) 事業認可申請以降、市は、事業の収支の状況について組合から情報を得る機会があったか。</p> <p>(8) 「市民意見を聴いている」というオープンハウスでは、工事費についてどのような説明をしてきたのか。</p> <p>(9) 事業の見直しの提案はあり得なかったのか。</p>
2	<p>権利変換計画について</p> <p>(1) 市の従前資産額について、市・組合それぞれが行った鑑定価額はどうか。</p> <p>(2) 民間の従前資産額について、都市再開発法第80条第1項（宅地等の価額の算定基準）は守られたのか。</p>
3	<p>市民合意にもとづく事業の推進について</p> <p>(1) 今回の総会にあたっての市の進め方は、市民への説明・納得よりも、組合の都合、事業の推進を優先する「市民無視」の対応ではないか。</p>

一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 17番 野村 諒子

質問事項 1	働く人の利用促進を図る公民館運営について
具体的内容	平成の初期までは地域社会の担い手として婦人会や青年団活動などが活発に行われていましたが、女性の社会進出が進み働く女性が増えてきたことにより、以前のような地域社会の担い手となる団体が少なくなってきたと感じています。 平成10年に施行された特定非営利活動促進法により、その後、県内でも多くのNPO法人が設立されましたが、会員の高齢化、後継者不足により解散する団体が増えてきました。 設立した団体は、社会貢献を目的とし社会課題に自ら取り組むことで、生きがい、やりがいの場を生み出すきっかけにもなっていました。今後は、若い世代を巻き込むことができれば、活動が活発になり、後継者を育てることにもつながっていくものと思います。 これからの地域社会の担い手となる若い人や、新たな団体を増やしていくためには、働いていても参加しやすい環境を整える必要があるのではないのでしょうか。 しかし、三島市内の公民館は休館日が多く、特に日曜日が休館日となっている所が多いため、土曜日の予約が取りにくい状況もあるように思います。働いている市民が増えて、利用できるのは土日と夜しかないとすれば、日曜日の開館を検討することも必要ではないかと思えます。
	1 市内の活動団体の状況をどのように捉えているか伺う。(高齢化、団体減少、担い手不足等) 2 公民館は利用率だけでなく、若い人の利用促進を図るべきと考えるが、取組みはあるか。 3 他市との比較で、日曜は開館している市町が多いが、見解を伺う。 4 日曜を開館する場合、シルバー人材センターの活用が良いと考えるが見解はどうか。
質問事項 2	新庁舎建設費の妥当性と建設費を抑える取組みについて
具体的内容	8月1日に開かれた議員向け説明会で示された新庁舎建設費は、いずれの案も以前考えられていた金額予想を大きく上回る建設予算が示され、事業を進めるには、他の事業の推進に影響が出るのではないかと危惧されます。 現庁舎は建設してから63年経過しており、これまでも多額の費用をかけて修繕し改善を図ってきましたが、今後8年を目途に新庁舎を建設することについては、多くの市民からも賛同を得ていると理解しています。しかし、三島市の財政規模を考えると、今の職員数や全国の一般的な建設面積から割り出された広さによる建設費を予算化するのではなく、コストを抑えるための工夫や努力をした上での予算化でなければ、市民には納得していただけないように思います。 そこで、説明会で示された建設費の妥当性と、建設費を抑えるための取組みとしてどのようなことが可能かについて伺います。
	1 説明会で示された庁舎の坪単価はいくらか。他市との比較において妥当性は。 2 三島市の財政状況で、建築費の上限をいくらと考えているか。返済計画はどうか。 3 新庁舎の建築物としてのレベルをどの程度に考えているのか。(装飾、機能、仕様等) 4 全体の建設費を抑える為に、社会福祉協議会等の他機能は含めない方向で検討はできないか。 5 駐車台数の再検討ができないか。(社会福祉協議会等を含めない場合も検討) 6 建設費を抑えるための取組みとして、今後、どのようなことが考えられるのか伺う。

一般質問発言通告書

発言順位	4番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 7 番 永田 裕二

質問事項 1	大場ポンプ場など市内排水施設等の管理・運営について
具体的内容	令和3年7月3日の大場地区の浸水被害後の対応・対策について、過去の一般質問と重複する部分もありますが、他の排水施設等も含め、現時点までの成果とさらなる安心・安全の確保の可能性について、住民への説明の必要性から質問させていただきます。
1	令和3年7月3日以降の施設整備の状況
2	運用基準の改定状況
3	運用マニュアルの改訂状況
4	国土交通省より河川保護のための排水ポンプ停止の指示が出された際の対応
質問事項 2	新庁舎の整備候補地の選定について
具体的内容	三島市では庁舎の老朽化や狭隘化、機能の分散や駐車場不足などの課題を解決するため、新庁舎整備の検討が行われています。議員への説明会やパブリックコメントの実施が進められていますが、これまでの検討の結果選ばれた配置計画6プランの選定について、不確定な要素を確認するため、質問させていただきます。
1	ライフサイクルコスト（生涯コスト）について
(1)	ライフサイクルコストの算出理由と整備候補地ごとの比較結果
(2)	北田町で立体駐車場のないプランが作れない理由
2	南二日町広場の現状について
(1)	借地部分の現状と展望
(2)	サッカーグラウンド、クレーグラウンド及びその他施設の利用状況の現状
(3)	グラウンドの移転費用の削減策
3	新庁舎建設に伴って生まれた土地のまちづくりへの活用について
(1)	北田町跡地の活用の可能性
(2)	南二日町広場の三嶋大社と連携した利活用の可能性
(3)	中央町別館跡地の「しゃぎり会館」など、観光・歴史文化継承に貢献する活用の可能性

一般質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年9月5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 15番 高田 康子

質問事項1	子どもと高齢者の見守り対策について
具体的内容	近年子どもや高齢者に対して、交通事故や行方不明事件が起きている中、事件や事故の詳細が分からない場合、家族は真実を知りたいと願うものです。 すべての事故や事件が人の目の前で起きているとは限りません。人が出来ることは限られています。 子どもや高齢者などの見守り対策について以下の点を伺います。
	1 三島市、三島警察署管内における近年の不審者情報や声掛け案件の発生状況、対応及び高齢者の行方不明発生状況について
	2 登下校時の地域における見守り活動と、市民の方々の生活及び学校における防犯対策の現状について。また、それぞれの課題について
	3 防犯カメラの設置についての取組状況、市の考えについて、また静岡県では地域における子どもの見守り活動を補完し、子どもを狙った犯罪の抑止を図るため、通学路に防犯カメラを設置する自治会等に補助金を交付する市町に対して助成をしているが、三島市はどのように取り組んでいるのか。
	4 都内では大手飲料メーカーが防犯カメラを内蔵した自販機を設置している。災害対応自販機としても使え、安全安心なまちづくりを標榜する本市の取り組み姿勢を示す意味でも、このような取り組みを導入することはできないか。
質問事項2	住宅確保要配慮者に対するの居住支援について
具体的内容	三島市に限らず、全国的に社会的弱者と呼ばれる貧困問題が問題視されています。問題は様々ありますが、福祉の生活弱者に対する「居住支援法人」についてお聞きします。 国土交通省では、住宅確保要配慮者の入居及び住宅支援を目的とした「居住支援法人」が県内に13法人あります。 令和3年9月、令和4年9月と土屋利絵議員が空き家対策の一環として「居住支援」について一般質問しましたが、それを踏まえて「住宅確保要配慮者」に対するの観点より以下の点を伺います。
	1 高齢者、子育て世代、ひとり親、障害者、外国人、生活困窮者などに対する見守りサービスの現状について
	2 居住支援法人と三島市はどのような関係を築いているか。
	3 令和3年9月、令和4年9月の一般質問から今日までの進捗状況
	4 以上を踏まえて、さらなる連携強化と今後の居住支援協議会の設立についてどのように考えているか。

一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 6番 横山 雅人

質問事項 1	三島市オリジナル仕様のWEB・アプリサービス KENPOS について
具体的内容	
三島市の持続的発展に向けた基本的な柱の一つに、人もまちも産業までもが健やかで幸せに暮らせるまちづくりスマートウェルネスシティが、第5次三島市総合計画の基本目標2にスマートウェルネスみしま推進事業があります。その中の健幸づくりアプリ運営事業について伺います。	
1 令和4年12月15日にみしまタニタ健康くらぶが終了した。この事業効果の検証結果	
2 この事業の終了の経緯と終了後のフォロー	
3 アプリサービス KENPOS の普及率とPR活動	
4 アプリ導入時にサポートはあるが、導入後の入力（特に食事の記録）は高齢者には大変では。	
5 健幸マイレージポイント対象イベントでも選択制でKENPOS 対象イベントにしてはどうか。	
6 スマートウェルネスみしま第4期アクションプランのCo-creationの内容と進捗	
質問事項 2	長伏プール終了後の活用について
具体的内容	
長伏プールが来年3月31日で完全終了します。総合運動公園として今後の活用が望まれます。今後の活用について伺います。	
1 夏季日中は噴水水遊び施設とし、それ以外の時間は2020年東京五輪で正式採用され愛好者が増えているアクションスポーツのスケートボード、自転車（BMX）の練習ができる兼用施設としてはどうか。	
2 このほどパリ五輪を決めています愛好者が増えると予想されるバスケットボールの練習場を設けてはどうか。	
3 市内のスポーツ施設の今後の維持修繕計画	
質問事項 3	市道の街路樹について
具体的内容	
台風等による街路樹の倒木による事故や被害が各地で起こっています。根を張れない環境、排ガスの影響が考えられます。街路樹の維持管理について伺います。	
1 市道の街路樹の本数	
2 市道の街路樹の維持と管理	
3 倒木の危険のある街路樹の本数とその対策	
4 今後の街路樹設置の考え方	
5 樹木医の有資格者の有無と取得への取り組み	

一般質問発言通告書

発言順位	7番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 21番 本間 雄次郎

質問事項 1	三島駅南口東街区再開発事業について
具体的内容	
<p>現在、三島市はホームページやパブリックコメント実施など、「市役所庁舎建替」に向け、奔走しているように見えます。私も当初、この9月定例会で市役所建替問題を取り上げるつもりでした。</p> <p>しかし、市は今回の私の質問テーマである「三島駅南口東街区再開発事業」をどのような予算増額になろうが、市長の絶対後戻りをしない決意の下、市長の仰る「なんとしても」突き進む覚悟のようであります。東街区再開発問題から市民の目を逸らすために、市役所建替問題を利用し、煙幕を張っているとしか、私には思えません。そのため、市役所建替問題を議論している場合でない、と感じ、この「三島駅南口東街区再開発事業」に対し、最後の警鐘を鳴らすべく、本題材のみとしましたことを始めに申し添えます。</p>	
1. 全体事業予算 209 億→261 億円という大幅予算増額決定の過程、経過について	
(1) 8月31日非公開議員説明会で、市はこの予算増額を権利変換縦覧前に知っていた、と答えました。それを知ったのがいつなのか、日付も付して、お答え下さい。	
(2) また市は予算増額を知っていたにも関わらず、同じ地権者である、一般地権者と市民、議員に対しなぜ権利変換縦覧前に公開しなかったのか。	
(3) 事業計画変更認可申請はいつごろの認可を目指しているか。またその後の権利変換認可申請はいつごろの提出を目指しているか。	
2. 市の権利変換内容について	
(1) 市は現在のタイムズ駐車場部分 2,090 坪が 11.1 億円の評価であることに受託予定 (9月4日現在) である。一般地権者は軒並み坪単価 80 万円以上の評価であるにも関わらず、市は広く整地されたあの土地を坪単価 53 万円という低評価で受託する理由を伺う。	
(2) 上記の通り、市は土地 11.1 億円+負担金 9.6 億円=20.7 億円と 7 階建て立体駐車場 418 台を交換するわけだが、取得する立体駐車場の建設費はいくらか。	
(3) 立体駐車場を市営として運営していくわけだが、これまでの平面駐車場の収支と取得予定である立体駐車場の収支予想を明確な数字を用いて比較・説明頂きたい。	
(4) 本事業建設中、市が組合から受け取る駐車場休業補償費 3.3 億円の内訳 (例: ○○円×○年分) を説明頂きたい。	
3. 6月定例会にて本間の一般質問終了間際の市長による発言について	
(1) 上記の通り、市長から私に対し、「本間議員はだいぶ誤解がある。正しく理解して頂きたい。土地は平成9年から、相当価格が下がっている。雇用の場や事業税などの収益があるから、トータルで考えて欲しい。」旨の発言があった。であるならば、当時の事業予算 209 億円を基とした市としての事業収支予想と、新事業予算 261 億円を基とした市としての事業収支予想も当然承知されているはずなので、こちらも明確な数値を用いて説明頂きたい。	

一般質問発言通告書

発言順位 8番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 19 番 岡田 美喜子

質問事項 1	ひきこもりへの相談体制について
具体的内容	
<p>内閣府は今年3月31日、2022年度「こども・若者の意識と生活に関する調査」の結果を公表している。ひきこもり状態にある人は、15～64歳では国民の約2%にあたる約146万人と推計している。そのうち、2割が新型コロナウイルスの流行がきっかけであるとされている。</p>	
<p>ひきこもりとは、仕事や学校に行かず家にこもっている状態で、具体的には病気などを除き、趣味や用事の時だけ外出する、近所のコンビニなどには出かける、自室からは出るが家からは出ないなどの状態が6か月以上続いた場合、ひきこもりと判断される。</p>	
<p>8050問題は、経済的に困窮してしまう場合や、暴力や無理心中などの事件につながってしまう恐れもあり、大きな社会問題となっている。</p>	
<p>三島市のひきこもり者と同居の家族の支援はどのように行われているのか伺う。</p>	
1 ひきこもりの現状把握と課題について	
2 相談者への対応状況について	
3 ひきこもり者及び同居する家族に対する支援はどのようなものがあるか。	
4 ひきこもり者の課題によって連携機関が異なることから、ワンストップ型の常設相談窓口を設置できないか。	
質問事項 2	「思いやり運転」交通安全対策について
具体的内容	
<p>内閣府は今年6月、令和5年度版交通安全白書を公表している。令和4年度中の交通事故発生件数は30万839件で、18年連続で減少しているが、交通事故死亡者数の高齢者が占める割合は56.4%と依然高い状況にある。また、10年間ですべての死亡重傷事故件数が4割減少しているのに対し、自転車関連事故は3割減にとどまっている。</p>	
<p>三島市においては、令和3年度から令和7年度を計画年度とする第11次三島市交通安全計画が策定されている。交通安全意識の高揚・高齢者の交通事故防止・交通マナーの向上、交通環境の整備等、どのような状況にあるのか取り組みを伺う。</p>	
1 本市の交通事故発生状況と内訳について	
2 高齢者の免許返納事業の現状と移動手段等の取り組みについて	
3 交通安全意識の高揚・高齢者の交通事故防止・交通マナー向上の取り組みについて	
4 矢羽根型路面標示等、交通環境の整備について	
5 「思いやり運転」の取り組み状況について	
6 交流人口の増加に伴い、交通量の増加等による事故が懸念される。レンタカー事業者等を通じて「思いやり運転」の取り組みをPRし三島市から発信してはどうか。	

一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年9月5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 22番 弓場 重明

質問事項 1	三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況
具体的内容	
<p>三島駅南口東街区再開発事業における総事業費が、2022年の再開発組合設立時の計画金額総額209億円から261億円、諸物価と人件費の高騰により、52億円の増額となる見込みであるとの報告があった。国、県、市の再開発補助金等の各種支援金も併せて増額となる見込みであるとの報告も併せてあった。</p> <p>2018年7月23日に、豊岡市長とある団体の懇談の席上、ここで市長は再開発事業に対し『中止する考えはない。中止させるのなら、私を殺してからにしてください。』と、床に座り壁に向かって威圧、センセーショナルな発言として全国的に知れ渡ったのは記憶に新しい。</p> <p>まさにこれが、何がなんでも完成させねばならぬという、市長自身の強迫観念として、またそれが多くの関係者に、『足元を見られているのでは』と推測される結果となっているとの心配が尽きない。そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 総事業費増額52億円(約20%)の詳細。各種支援制度も含め確実に対応出来るのか伺います。2 世界経済、特にサプライチェーンとしての中国経済の失速が今ニュースになっており、総事業費増加の歯止めは掛からない。どこまでを許容範囲としているのか伺います。3 「ゆでガエル症候群」にならぬ様に、これ以上の事業費の増額は無いとの根拠を伺います。4 民間では、52億円(約20%)もの予算額がオーバーすれば、事業規模の縮小や、中止を考える場合が多いと言われている。当局としては、これらの選択肢は有るのか伺います。	
質問事項 2	新庁舎整備について
具体的内容	
<p>今回新庁舎整備予定地として、現在地の北田町と南二日町の事業概要が当局により提示されました。当局の資料は、選定するに足る資料としては十分ではなく、この時点での選定はかなり無理があると思われます。</p> <p>例えば、不確定なデータに基づいて、北田町の場合372億円、南二日町の場合320億円との事業費が議会報告会で示されましたが、この数字は市民の選択の幅を狭め、ミスリードの可能性があるといっても過言ではありません。</p> <p>まさにこの数字が独り歩きし、実際に、報告会の中でも、52億円の差があるのならそれで良いのではとの声も聞かれました。</p> <p>今回、新庁舎整備予定地を検討する場合、システムパフォーマンス・借地代・駐車場・施設の規模・防災対策その他諸々の事項が大筋で確定しない限り、概算事業費であろうとも、示すべきではないかと思われます。それは、検討の結果、不可能と思われていた事項が可能になる場合もあるからです。そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 新庁舎(整備事業費)に必要と思われる所要室と、適正な規模について伺います。2 未確定時の新庁舎整備事業費、52億円の差はミスリードの可能性があると思うが如何か。3 議会報告会での中間報告を受け、あらためて各候補地の比較検討について伺います。	

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 1 番 秋山 恭亮

質問事項 1	子どもたちの安全と未来のために 公平・公正な教育の実施について
具体的内容	公正な社会を実現するためには「教育の公正」が重要である。「教育の公正」とは、一人一人が質の高い学びを享受し、教育過程を修了する機会が十分に提供されているということである。
	現在、経済的な格差や生活する場所の違いで、教育にも格差が生まれている。三島市においても教育の格差は存在しており、これを可能な限り是正していくことは、未来を担う子どもたちの可能性や人生の選択肢を広げることになる。また、三島市において先進的に公正な教育を実施することができれば、必ず地域の活性化に繋がると信じるものである。三島市における現状の確認と将来の政策提案をするために、以下について伺う。
	1 内閣発表の「異次元の少子化対策」において給食費の無償化の支援が検討されている。これを受けて三島市における今後の取り組みを伺う。
	2 小中学校におけるプログラミング教育が必修となっている。学校現場における具体的な実施方法について伺う。
	3 国道近辺の小中学校では通学路が抜け道となっており、児童の登下校中においてもかなりのスピードで車が走っている箇所が散見される。南小中学校は国道1号・136号と隣接している。学校の東側の道路が抜け道になっており、危険な状況が見受けられる。当該道路をスクールゾーンにという声もあるなか、通学路の安全確保について伺う。
	4 現在、三島市において困窮世帯（生活保護受給世帯等）の児童・生徒が公平に学べるように、塾に通うことができる助成事業を行っている。事業の概要（費用・国庫補助・対象人数）を確認したい。また今後、対象世帯及び対象の習い事の拡充を行う事業政策の提案をするが、担当課の意向を伺う。
質問事項 2	共創の街 民間と手を携えた、より活性化した三島の実現について
具体的内容	三島市は官民連携を強固にしたまちづくりを推進している。その中にはまちなかりノベーション計画や空き家の利用促進なども含まれる。多様化が進み、行政や市町の課題が複雑化・複合化した現在、問題解決を行政のみで行っていくことは困難を極める。現在・未来において、民間・企業と手を取り合い幅広い知識や知恵、実行力を市政に生かしていくことは必須であると考えます。共創の街三島を推進し、より活性化した未来の三島市を実現するため、以下について伺う。
	1 まちなかりノベーション計画では今年度は様々な事業の実施をする年度となっている。進捗・具体的な実施事業・今年度実施予定の事業について伺う。
	2 三島市の入札・見積り合わせに対して、商工会議所や官公需適格組合より要望が出されている。詳細と対応を伺う。
	3 三島市の空き家対策事業について、具体的な対策を伺う。また、空き家活用への積極的な事業として、民間企業の力を借り賃貸運営する事業提案がある。PPP、PFIの導入も含め、今後の方針を伺う。
	4 今年度、三島市は伊豆ファン倶楽部事業を展開する。これこそ民間企業の協力・参画が必須である。広く協力を求めることができる土台作りとして、商工会議所との協力体制構築について伺う。

一般質問発言通告書

発言順位 11番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 16番 佐野 淳祥

質問事項 1	新庁舎建て替え事業について
具体的内容	新庁舎の建て替えについて、議会へ説明をいただいておりますが、現在地の北田町と南二日町の建設コストと80年間のライフサイクルコストの合計値が大きく差がついています。その要因のほとんどは、立体駐車場の建設費と維持費であると伺っております。当局は、240台の駐車場が敷地内に必要という考えから、北田町の場合は立体駐車場を併設するとしていますが、その内容についていくつか質問をさせていただきます。
	1 「市-区-町役場の窓口事務施設の調査：建築計画(関龍夫 著)」と「最大滞留量の近似的計算法」(岡田光正 著)の算定に用いたそれぞれの数値はいくつか。また、その数値の根拠は何か。
	2 最大滞留量ということは、一年で一番多い時を示す台数なのか。現状の駐車場は、年間を通じてどういう状況なのか。
	3 来庁者の用件とその割合、来庁頻度について
	4 本庁窓口、各市民サービスコーナー(北上、中郷)、コンビニエンスストアでの各種証明書発行数の推移について
	5 マイナンバーカードの申請者数について
	6 転入転出届の手続き数について
質問事項 2	子どもが選択できる学習環境と成長機会について
具体的内容	いま、「不登校」が増えているといわれます。実際に私の周りにも市内小中学校へ通えなくなったという相談や話が多く寄せられ、以前より身近な肌感覚があります。各学校では校長先生を筆頭に先生方が心を寄せ対応し、様々な対策を取られていることに敬意を表しますが、三島で育つ子どもたちが不遇な環境にいることは、心痛の思いです。 米国で3人の子育てをする知人は、2人が家庭学習(ホームスクーリング)、1人は通学して学習環境を選択しています。家庭学習をしている2人も頭脳明晰で、空手や新体操もバリバリのスポーツマンです。自分に合う学習環境を「選択できる」(オルタナティブ教育)米国では、「不登校」という概念がないようです。枠から外れると「ダメな人間」と思ってしまいかねない「不登校」というレッテルは、人生を左右する大変不幸なプレッシャーだと思われまます。三島の児童生徒が幸せな成長期を送れるように、以下のように質問します。
	1 現在の「不登校」児童生徒の人数、推移、検証を伺う。
	2 学校別室やふれあい教室へ通う場合は、不登校とされないか。
	3 通えなくなった原因は、どんなものがあるのか。
	4 通えなくなった児童生徒がどのような生活をしているか、如何に把握しているか。
	5 「70歳代を高齢者と言わない都市やまと」のように、不登校と呼ばない宣言ができないか。
	6 学校に行かない児童生徒の家庭への情報提供について、ガイドラインはあるか。
	7 三島市で学習環境を選択する支援はできないか。

一般質問発言通告書

発言順位 13番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年9月5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 4番 堀江 和雄

質問事項1	公会計から得られるデータの活用とデジタル予算書の取組みについて
具体的内容	<p>平成26年に設定された統一的な基準による財務書類及び固定資産台帳については、令和3年度末において決算年度の翌年度末までに作成・更新された地方公共団体が9割を超えるなど、全国でも定着が進みました。当市においても財務諸表と関連データの公表もされることとなりました。企業会計である減価償却の考え方も導入され、資産・建物の老朽化、価値の減少などのデータも把握することができました。しかし、財務諸表が翌年度末となるため、次年度予算に反映することができません。一人当たりの資産額、負債額、行政コストなど、これからのデータ活用について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 公会計から得られる財務諸表からのデータ等の活用状況について伺います。2 財務書類・固定資産台帳の活用方法について。有形固定資産減価償却率など更に事業別・施設別データの算出から、公共施設マネジメントに活用ができないか伺います。3 財務会計システムの機能向上について。新たなシステムを導入しこれからの機能拡張も大いに期待をします。仕訳伝票の入力などにより財務会計システムの機能向上に向けて三島市が取り組めることがあるのではないかと考えますが、見解を伺います。4 デジタル予算書の取組みについて。スマート市役所宣言、DXにより自治体予算の見える化である事業予算の推移、執行率、成果などが瞬時にパソコン上で見ることができるデジタル予算書も注目されています。導入先進地である新潟県柏崎市・大阪府豊中市の取組みを参考にできないか伺います。
質問事項2	小さな低速電動車（グリーンスローモビリティ）が公共交通と地域を変える
具体的内容	<p>昨年4月から、大場駅を起点に東大場、錦が丘、パサディナ及び函南エリアを結ぶ自主運行バス「花のまち号」が運行を開始しました。嬉しいことに多くの反響も頂き、利用者増、昨年末には関係の皆様との意見交換会も実施、日中運行のジャンボタクシー運転手に過度の負担とならない範囲での改善要望などで利便性向上を図ることができました。現在は、地域の5年後を議論しています。最寄り駅、バス停、集会所などからいわゆる自宅までのラストワンマイルをどのようにアシストしていく事ができるのか。キーワードは、小型・低速・電動であり、更に副産物として、話しかけやすくなるコミュニティが醸成されます。そして街中では、まちなかりノベーションプランにあるウォークブル（歩きやすい・歩きたくなる）、多額の経費が掛からず、まちなか、郊外団地、観光エリア、坂道の移動などに適していることが求められます。小さな低速電動車（グリーンスローモビリティ）について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1 鉄道、バス等これまでの公共交通ネットワークを補完する移動交通が様々議論され、実用化されています。小さな低速電動車（グリーンスローモビリティ）の5つの特徴から我が地域でも自宅までのラストワンマイルの移動を補完する小さな交通になると考えますが、見解を伺います。2 まちなかにもグリーンスローモビリティを導入することにより、小型・低速（ゆっくり）の空間が創出されて、歩きやすい・歩きたくなる「ウォークブル」を実現できる環境が醸成されると考えますが、見解を伺います。

一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 9 番 服部 正平

質問事項 1	市民の日常生活の環境保全における本市の対応について
具体的内容	本市では、「三島市環境基本条例」の理念に基づき、平成14年3月に第1次、平成24年3月に第2次、そして現在第3次の「三島市環境基本計画」を策定し、三島市の環境保護に努めています。この基本計画は大変重要なものであると受け止めています。
	今回は基本計画に謳われている基本目標2 資源循環のまち【資源循環】 施策3 資源の有効利用及び基本目標3 自然共生のまち【自然環境】 施策4 自然環境の保全に関わって伺います。
1	6月議会において「市道祇園原線に噴出している赤褐色の水」に関わっての一般質問を行った。当市の答弁は、①県に提出された地元住民団体の質問状について、県は市に回答するよう求めたが、当市が回答できる内容ではないことから県にその旨を文書にて伝えた。
	②「赤褐色の水」は地下水である。③湧き出す汚水、堆積物の継続調査は行わない。
	この答弁を受け、三島市が計画した第3次環境基本計画に添って以下質問とします。
	(1) 地域住民が県に求めた公開質問状の回答（令和5年7月24日の回答）について
	(2) 市の基本計画基本目標3 自然共生のまち【自然環境】の取り組みとの関係では市の答弁に矛盾があるのではないか。
2	基本計画 基本目標2 資源循環のまち【資源循環】 施策3 資源の有効利用について
	(1) 一般家庭から排出されるプラスチックゴミの処理の有効利用の進捗状況は。
	(2) 基本方針との関係で市の取り組みの検討状況は。
質問事項 2	マイナンバーカード及びそれに関わるマイナ保険証の対応について
具体的内容	マイナンバーカード導入後、ご承知の通り多くのトラブル・事件が多発し、カードと保険証との一体化においても同様の事案が起きており、カードへの信頼性が大きく揺らいでいる状況があるにも関わらず、国はカードと保険証との一体化を来秋には強行しようとしています。カードと保険証の一体化においては多くの問題点があると指摘されています。市はこれらの問題点（欠陥）にどの様に対応するか伺います。
1	マイナンバーカード・マイナ保険証の現状について
	(1) マイナンバーカード交付状況他、健康保険証利用申請・使用状況、公金受取口座登録の状況は。
	(2) 市におけるコンビニ交付での誤交付、保険証や口座の誤登録に関わってのトラブルの有無、市民からの問い合わせの状況は。
2	カード交付後のトラブルに対する市の対策と取り組みについて
	(1) コンビニ交付サービスで証明書の誤った交付があった時
	(2) 公金口座に誤った登録があった時
	(3) マイナポイント事業で別人に誤って付与された時、これらの対処法はどうされているか。
3	マイナ保険証関連について
	(1) 市民が平等に医療を受けることができる日本の医療保険制度がマイナ保険証によって後退するのではと考えるが、当市はどの様に捉えているか。
	(2) マイナ保険証を所持されていない方への対応はどうされるか。
	(3) 当市におけるマイナ保険証に代わる「資格確認証」の取り扱いについて
	(4) 医療機関との連携、またカードリーダーの普及率及びトラブルの情報等把握されているか。

一般質問発言通告書

発言順位 16番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年9月5日

三島市議会議長 藤江康儀様

三島市議会議員 8番 石井真人

質問事項 1	社会情勢変更に伴う公共施設等総合管理計画と長期財政計画について
具体的内容	公共施設等総合管理計画に基づく、個別施設計画（令和2年3月）の策定から、約3年半、工事費高騰など社会情勢が大きく変化する中で、長期財政計画（令和4年5月改定）との関係を以下に伺う。
1	長期財政計画（令和4年5月改定）の際の事業費、新庁舎は約70億円、再開発は約38億円。現時点で両事業とも増額となり、LCCを踏まえ年度毎の増加額はいくらになるのか。
2	長期財政計画内のインフラ計画の年間事業費と公共施設等総合管理計画の年間必要額との差額に対する考え方。また、ごみ焼却処理施設更新費はどの費用に含まれるか。
3	第5次総合計画・実施計画の長伏グラウンド整備約6億7千万円の事業が個別施設計画に入っていない理由。長伏グラウンド整備には、流域治水施設として機能を含めているのか。
4	下水道料金30%改定（令和6年4月）で改善できる財政上の赤字額は年間いくらか。
5	新庁舎整備（北田町）において、立体駐車場は財政運営上作るの難しく、市営中央駐車場と併用した方がいいと考えるがどうか。長期財政計画を踏まえた上での新庁舎整備の総事業費の上限は。
6	計画策定から3年半の中で、新庁舎建設、市営藤代住宅、体育館整備、長伏グラウンド整備、再開発事業において増加した金額と、増額が及ぼす長期財政計画への影響は、最終的に30年間の歳入―歳出の差額の総額の変化はいくらか。その際、今後30年間、新規に大型事業をやるだけの財政上の余裕があるか。その場合の新規事業費の上限は。
7	国の新営予算単価上昇（11年連続増加）など工事費高騰による公共施設等総合管理計画の本年度改定の計画に、工事費増額分の修正費用は盛り込まれる予定か。
質問事項 2	三島駅南口東街区再開発事業の事業計画変更について
具体的内容	先月8月29日に各派代表者に示された工事費高騰を受けての事業計画変更に伴う再開発事業に対する今後の対応について以下に伺う。
1	事業計画変更に伴う、工事費高騰による再開発単独の費用便益比と収支効果評価は、どのように変化すると予測されるか。再開発単独の費用便益比は、1.0を切り、国の審議会では、社会的割引率は、全事業において当面4%を適用するとなる中で、なぜ、設計変更や事業の見直しをなぜ行わないのか。事業内容を見直さずそのまま推進する理由。また、工事費の精査は、どのような形で行うことを考えているか。
2	工事費高騰の影響に対し、国の支援制度で負担する補助金がある中で、三島市が更に補助金5億円を追加負担する理由。残りの増額分は保留床処分金で賄うべきではないか。
3	再開発事業の補助額の上限設定には、長期財政計画を踏まえて設定しているのか。上限設定の数字的な裏付けは。
4	工事期間中の三島駅南口駐車場の代替となる駐車場の確保の状況と今後のスケジュール
5	再開発事業に伴う駅前の交通規制について、警察との協議の状況

一般質問発言通告書

発言順位 17番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 5年 9月 5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

質問事項 1	新庁舎整備候補地と整備内容と跡地利用詳細
具体的内容	<p>新庁舎は令和13年の竣工を目指し、新庁舎建設候補地の様々な現状と見通し、跡地利用、統合される機能が示され、9月よりパブリックコメントも開始している。建設候補地として北田町、南二日町のどちらかに決めるにあたり、その前提としての当局の説明内容は重要である。そこで提示された内容について以下に確認する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 現在地での建て替えは仮移転が必要で、執務中の建設方法に制約が大きく、工期がかかり現実的ではないとしている厚木市の例があるが、当市ではどう考えているか。2 本来の都市機能誘導区域として三島駅周辺徒歩圏内に市役所を置くほうが都市機能を高めることになると考えるが見解を伺う。3 公共交通機関からのアクセスは重要であるが、南二日町の場合にコミュニティバス等の新設は考えているか。4 絞り込んだ主要窓口を1階のワンフロアに配置することが求められるが、どのような部署を想定しているか。また必要建築面積はどのくらいで、どちらの案でも確保できるか。5 立体駐車場の台数は配置計画1の場合57台ほどで、床面積は2,280㎡程度となっているが、その構造についてワンフロア何台、何階建て、何層、RCか鉄骨か、フロア式か傾斜式か、また何年の使用を想定しているか伺う。6 立体駐車場の80年のライフサイクルコストで建設費9億円、運用費5億円、保全費37億円と示されているがその明細を伺う。また算出根拠はなにか。7 平成6年竣工の市営中央駐車場は269台とめられ、大規模改修すればあと30年程使用できると思うが、ここに公用車57台を置けば30年間は現在地での立体駐車場は要らなくなる。大規模改修費はどのくらいか。8 跡地利用について中心市街地活性化に寄与するものにして、有力案はマンションで、1階2階に観光商業機能を入れるとしている。存続し続け、商店街活性化に寄与するものとは具体的に何か。
質問事項 2	清掃センターの将来を見越して市民一人当たりの一般廃棄物排出量の減少を
具体的内容	<p>令和5年6月15日発行のごみ減量トレンドィによると、令和3年度の三島市民一人当たりのゴミ排出量は823gとなり、前年より22g減少したことが示された。しかし静岡県内の人口10万人以上の10都市の中では下から4番目で、その量はまだまだ多い状況である。燃えるごみの90%以上を生ごみ、紙類、プラスチックが3項目を占め、ごみ減量のカギは食品ロス削減等による生ごみ削減とミックス古紙の分別にかかっている。そこで以下に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 近隣市町の裾野市では774g、長泉町では697gであるがこのレベル感は並んでいたほうが良いと考える。目標はどうなっているか。2 生ごみの減らし方としてコンポストが紹介されているが、今、ごみ処理機（温風乾燥式）が良いのではないか。この購入助成金制度が静岡県内で35市町中19市町と半分以上の市町で実施されている。そこで三島市でも購入費の1/2、上限助成額3万円の助成制度の実施を要望するが見解を伺う。